# 認定介護福祉士に求められる発信力　～後進の育成に着目して～

野田由佳里*[1)]、植田裕太朗[2)]

[1)]聖隷クリストファー大学、[2)] 群馬社会福祉専門学校

## Ⅰ．目的

認定介護福祉士を対象とし、資格取得過程において、何に影響され、具体的にどう変容の実際を明らかにする。また介護職チームにおける後進の育成にどのように関与するべきかの示唆を得る。

## Ⅱ．方法

・縦断研究の検証（2019、2020、2021 年度）・インタビュー調査（倫理承認番号 22044）

・調査対象者：スノーボール方式によって調査協力を得られた認定介護福祉士

## Ⅲ．結果

調査は倫理委員会承認後の 2023 年 2 月 17 日～3 月 10 日で行った。合計 16 名の研究協力を得た。

**表１　調査対象者の属性**　（表記の説明　年数：介護経験年数）

| | A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M | N | O | P |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 性別 | 女性 | 男性 | 女性 | 女性 | 女性 | 女性 | 女性 | 男性 | 女性 | 女性 | 男性 | 女性 | 女性 | 女性 | 女性 | 女性 |
| 年代 | 60 | 51 | 40 | 50 | 50 | 40 | 50 | 40 | 60 | 40 | 40 | 40 | 50 | 50 | 30 | 50 |
| 年数 | 20 | 20 | 22 | 23 | 23 | 22 | 15 | 22 | 20 | 20 | 23 | 12 | 33 | 30 | 17 | 30 |

逐語録を作成し、オープンコーディングを行い、様々な枠組みで 16 名の分析を行った。

1.　SWOT 分析を参考にした資格取得動機のタイプ【明確な受講動機】

| Type S：３名 | Type W：７名 | Type O：３名 | Type T：３名 |
|---|---|---|---|
| 自己の強みを強化 | 自己の弱みを強化 | 自己啓発 | コンプレックスの払拭 |
| しようという資格取得動機 | しようという資格取得動機 | が資格取得動機 | が資格取得動機 |
| Strength 強み / Weakness 弱み / Opportunity 機会 / Threat 脅威 | Strength 強み / Weakness 弱み / Opportunity 機会 / Threat 脅威 | Strength 強み / Weakness 弱み / Opportunity 機会 / Threat 脅威 | Strength 強み / Weakness 弱み / Opportunity 機会 / Threat 脅威 |

2.　PM 理論を参考にした資格取得後のリーダー像や自己の意識変化のタイプ【学びの成果】

| Type Ⅰ　０名 | Type Ⅱ　３名 | Type Ⅲ　５名 | Type Ⅳ　４名 | Type Ⅴ　２名 | Type Ⅵ　２名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 研修中に介護職チームへの意識づけが強化 | 研修中に介護職チームへの意識づけが変化 | 研修中に組織目標を意識できるよう変化 | 研修中に組織目標をやや意識できるよう変化 | 研修後に自尊感情に変化 | 研修後の振り返りで自尊感情に変化 |
| Pm型 → PM型 / pm型 pM型 | Pm型 → PM型 / pm型 pM型 | Pm型 → PM型 / pm型 pM型 | Pm型 → PM型 / pm型 pM型 | Pm型 → PM型 / pm型 pM型 | Pm型 → PM型 / pm型 pM型 |

その他にも、2021 年度研究で得られた概念的カテゴリー【現場の危機意識】【葛藤や躓き】【現場への還元】【介護業界への問題提起】【認定介護福祉士としての自負】を参考に分析を行った。

## Ⅳ．考察

認定介護福祉士達は、個人資格の枠を越え、労働環境・処遇の改善、資質の向上としてより専門性の高い人材として持続した養成が求められる。資格の認知度が低い現状への問題意識や、≪介護業界や業態への抗い≫を抱いていると捉えた。地域や組織の財産として後進育成への働きに期待する。